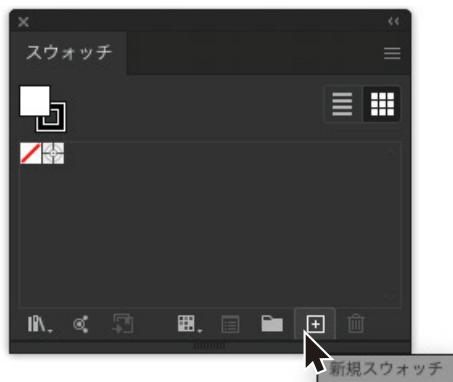


1

スウォッチパネルを表示します。新規スウォッチをクリックします。



●蛍光ピンクを使いたい場合

スウォッチカラーネーム : **FL Pink (M100 に設定)**

2

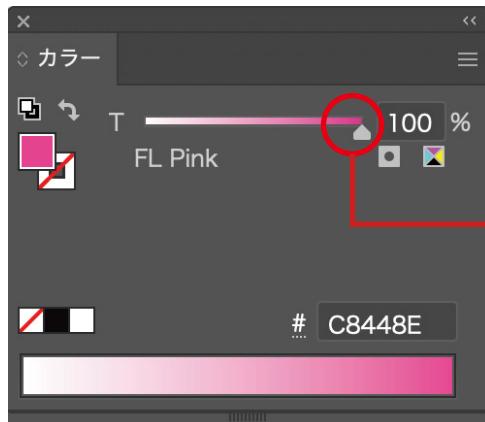
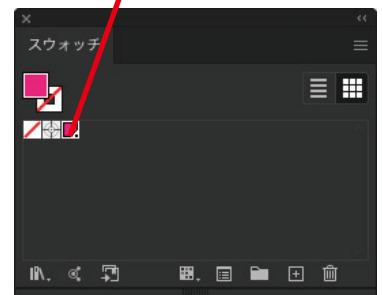
蛍光ピンクと使用する場合はスウォッチカラーナミを「**FL Pink**」にしてください。カラータイプを「**特色**」に設定します。色の数値はお好みで問題ないです。

※スウォッチカラーナーは、大文字小文字
半角を正確に入力してください。

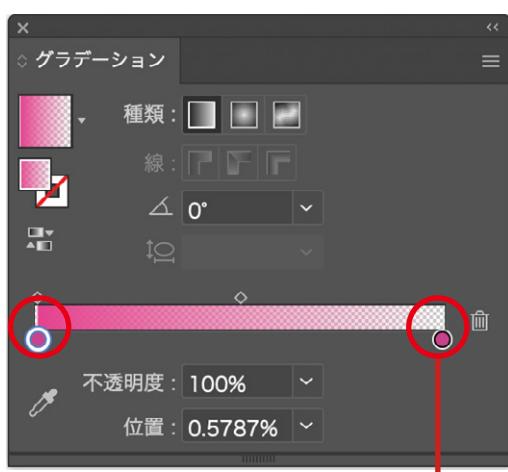


3

蛍光ピンクにしたいオブジェクトへ登録したスウォッチカラーを割り当てればOKです。



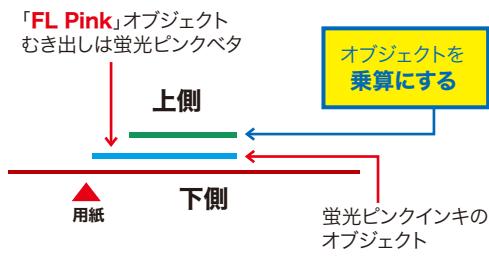
カラーパネルの数値を変更することで、蛍光ピンクの濃度を変更することも可能です。



上記のようにグラデーションのカラーに「**FL Pink**」を設定すれば蛍光ピンクインキーによるグラデーション表現も可能です。

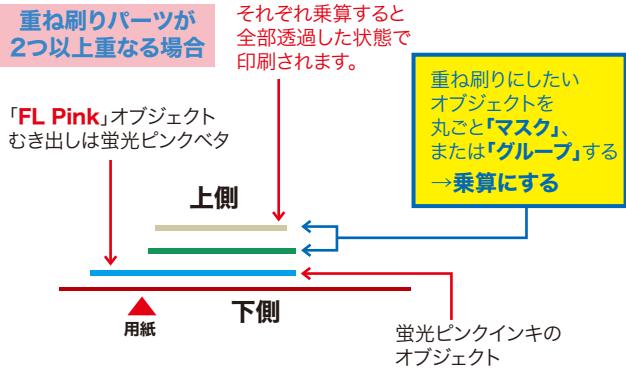
Illustrator上でのパートの構造①

蛍光ピンクパートが
1つの場合



Illustrator上でのパートの構造②

重ね刷りパートが
2つ以上重なる場合



応用編①

CMYに蛍光ピンクを混色することで鮮やかな発色にする／Illustrator

赤系、オレンジ系、黄系、青系、紫系の色は蛍光ピンクと混色することで通常のCMYより鮮やかな仕上がりにする事ができます。

「蛍光ピンクのオブジェクトの上に、掛け合わせたい色を「乗算」で重ねる。」これだけです！



C + M + Y + K



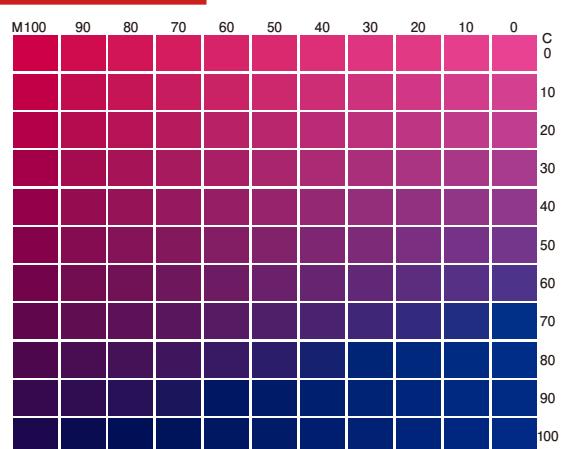
C + M + Y + K + FL Pink



このように「FL Pink」のオブジェクトの上にオブジェクトを重ねて「乗算」にするだけです。



M + Y + FL Pink



C + M + FL Pink

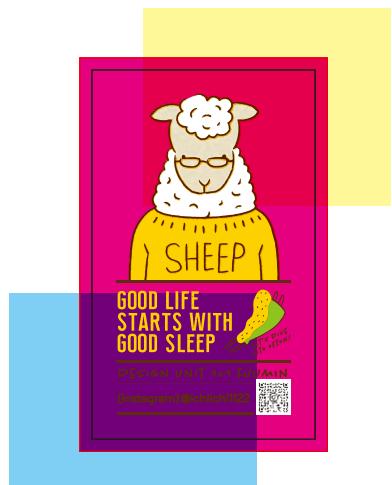
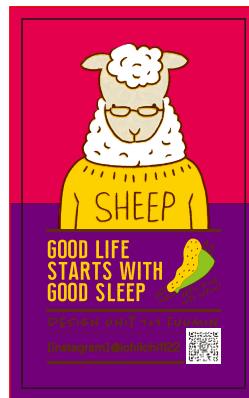
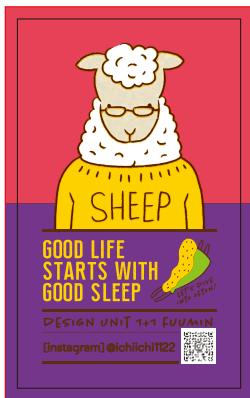


グリーン系、茶系、グレー系、などマゼンタをあまり使用していない色や、
3色(CMY)の混色に対する掛け合わせは、色がにごりますので不向きです。



刷り上がり

¥ 50



C 50

まずは仕上がりイメージでデザインを進めています。

蛍光ピンクにしたいオブジェクトに登録したスポットカラー「FL Pink」を割り当てます。蛍光ピンクの上にある混色にしたいオブジェクトを「乗算」にします。

ちなみにそれぞれのオブジェクトをバラすとこんな感じです。